

大型三方活栓

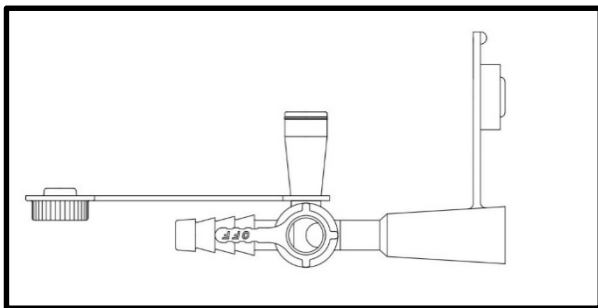
再使用禁止

【禁忌・禁止】

<使用方法>

- 1.再使用禁止
- 2.再滅菌禁止
- 3.本品と有機溶剤との接触は避けること。[アルコール含有消毒剤及び脱脂等を目的とするアセトン等の有機溶剤に接触すると、ひび割れが生じるおそれがあるため。]

【形状・構造及び原理等】



本品はドレナージチューブ等に接続して用いる汎用の大型三方活栓で、薬液や胃洗浄液の注入、排液・灌注時に回路の開閉をする目的で用いられるものである。本品の本体は、2つのコネクタ(A端及びC端)からなり、そこにコネクタ(B端)が接続され、各コネクタの回路の開閉をするための回転部が付されている。

B端雌コネクタには、ポリ塩化ビニル(可塑剤:トリメリット酸トリ(2-エチルヘキシル))を使用している。
可塑剤にDEHP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)は使用していない。

<原材料>

ポリカーボネート、ポリエチレン、ポリ塩化ビニル、シリコン油、ポリ塩化ビニル系接着剤

【使用目的又は効果】

本品はドレナージチューブ等に接続し、液体の流向又はガスフローの制御を行うために用いる。

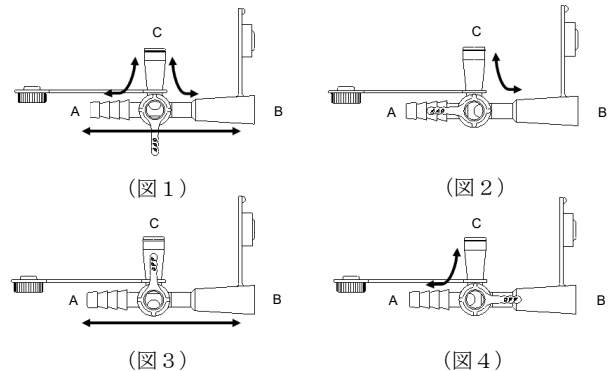
【使用方法等】

1. 接続

- (1) ドレナージチューブ等の接続部に、外れないようしっかり接続する。
- (2) 必要に応じてOFFレバーを回転し、流路を変更する。

2. レバーの切換

- (1) OFFレバーを図1の位置にすると、A・B・C端がすべて開放される。
 - (2) OFFレバーを図2の位置にすると、B・C端が開放される。
 - (3) OFFレバーを図3の位置にすると、A・B端が開放される。
 - (4) OFFレバーを図4の位置にすると、A・C端が開放される。
- 【注意】 OFFレバーを図1～図4の各位置に合わせると、レバーが軽くロックされる。ロックされない位置ではレバーを固定して使用しないこと。



3. C端を使用しない場合

- (1) キャップでC端雌テーパ接続部を閉じておくこと。

【注意】 大型三方活栓内に陽圧がかかるケースでは、キャップで雌テーパ接続部を閉じるだけでなく、必ずOFFレバーを図3の位置におくこと。[C端から漏れが発生する可能性があるため。]

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- 使用中は本品の破損、薬液漏れ等について、定期的に観察すること。
- 接続部は使用中に緩むことがあるので、漏れや外れに注意し、締め直し等の適切な処置を行うこと。
- 本品と皮下注射及び血管系ライン、神経麻酔ライン、経腸栄養ラインとの接続はしないこと。[誤った薬剤の投与が実施され、重篤な症状になるおそれがあるため。]
- 能動型機器に接続して使用しないこと。[本品の気密性は、50kPaであり、能動型機器に接続して使用すると漏れ等を生じるおそれがあるため。]
- 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。「自己認証による」

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件

室温下で、水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装上に記載(自己認証(当社データ)による)。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
カーディナルヘルス株式会社
カスタマーサポートセンター:0120-917-205